

盤上の哲学者といわれた坂田三吉に学ぶ

大分市教育委員会教育長

栗井 明彦

私は、昨年の 3 月まで大阪府堺市教育委員会に勤めておりましたので、堺市で生まれた人物である坂田三吉さんをご紹介します。坂田三吉さんは、天才棋士とつたわれ、明治期から昭和初期にかけて大きな足跡を遺した人物ですが、旧堺県の舭松村の中の南方と呼ばれた周りからの人権侵害や不合理な扱いがある被差別部落で生まれた人です。親は草履表づくりを生業にしている生活は楽でなく三吉さんは就学できませんでした。そのため賭け将棋の移りで家計を助けていました。坂田さんの将棋の強さにはこういった背景がありました。出自への偏見から快く思わない人もいました。しかし、将棋の勝ちつづりが世に聞こえることとなり、ついには、永遠のライバルとなる関根金次郎さん(のちの十三世名人)と出会うこととなります。

将棋という一芸に打ち込む中で自らの哲学を学び取っていった坂田三吉さんですが、生涯で覚えた漢字は「三」「吉」「馬」の 3 字だったと言われ、破天荒な行動もずいぶん多かったと言われた一方、実像は謙虚かつ礼儀正しい人物だったとて、凡人の教養では及びもつかない名文句を数々残していますので、今回は「銀が泣いている」という坂田三吉さんの言葉を紹介します。

一九一三年(大正二年)に行われた宿敵、関根金次郎との対局で、関根の挑発的な手に対し、坂田は「銀」銀将を動かさず、その銀を関根に取らせて、香車を使って攻めに転じようと考えていました。ところが、関根がその意図を読んで、取ってくれない。銀は「取ってくれ。いっそ殺せ」と叫んでいるのに、敵はそうしてくれない。それで坂田は「銀が泣いている」と言ったのでした。「あの銀はただの銀じゃない。それは坂田がうつおいて泣いている銀だ。その銀という駒に坂田の魂が込められているのだ。その駒が涙を流して泣いている。今まで私は悪うございました。強情すぎました。あまり勝負に焦りすぎました。これから決して強情はいたしません」と言って坂田が銀になって泣いているのだ。将棋に人生を懸けることはこういうことなのだ、と圧倒されます。結局この対局は、激戦の末、残った銀がこの役立つことになり、坂田が逆転勝ちします。

のちに坂田さんは、宿敵であり一生の友でもある関根さんが日本一となった祝いの席で、草履の鼻緒を贈りました。堺の被差別部落を暗示するのが鼻緒で、その地域の人たちが草履表などの仕事の多くを担っていました。「人は金でなく心だ」と考える坂田さんが、自分ができうる限りの心づくしを畏友・関根さんへ贈ろうとした時、差別も乗り越えて将棋に生きようとした強い信念や誇りを強く感じました。

晩年の坂田さんは新聞の将棋講評で、自らの名手についても詳しく解説しました。敵方を利用することになるのではとの忠告に対して坂田さんは、「咲かせた花は採るにまかせて、また実生から育てるばかり」と答えたそうです。坂田さんのように一つのことを極めてきた方の、その一言には深い教訓が含まれています。偉大な棋士の言葉に注目し、その人生観を感じてみてはいかがでしょうか。

旭ふれあい祭
アーチ

たくさんのご参加
ありがとうございました

今回もみなさまのおかげで素敵なお祭りとなりました

●開館時間

午前9時から午後10時まで
(教室の開催時刻により
閉館時刻は異なります。)

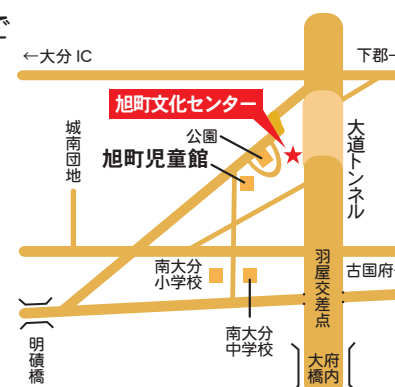
●休館日

土・日曜日・国民の祝日
及び休日・年末年始

●お問い合わせ

午前8時30分から
午後5時15分まで

☎546-2772



お知らせ 健康相談

日時 2月3日(月)
午後1時30分～3時

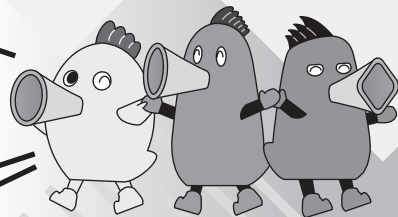
場所 旭町文化センター中会議室

保健師による血圧測定や
健康に関する相談を
お受けします。

※健康手帳をお持ちの方は
ご注意ください。



募集します!!



健康づくり体操教室

日時 1月23日(木) 午前10時～11時30分
場所 大会議室 **定員** 20名
募集期間 1月6日(月)～1月17日(金)



ひとりでできる肩こりや腰痛等の予防体操の実技を行います。

指導：おおいた健診センター

健康づくり料理教室

日時 ①1月16日(木) 午前10時～午後1時
 ②2月6日(木) 午前10時～午後1時
募集期間 ①1月6日(月)～1月14日(火)
 ②1月20日(月)～1月31日(金)
場所 生活改善室 **定員** 10名

生活習慣病の予防に役立つ料理の実習を行います。

指導：大分市保健所健康課

認知症サポーター養成講座

日時 2月21日(金) 午後2時～3時30分
場所 大会議室 **定員** 20名
募集期間 2月3日(月)～2月14日(金)



認知症の人とその家族が安心して暮らせるための正しい知識を取得します。

指導：南大分地域包括支援センター

スマホ・タブレット教室

日時 1月28日(火)～3月4日(火)
 毎週火曜日 午後1時30分～3時30分(全5回)
定員 10名 **募集期間** 1月6日(月)～1月17日(金)

スマホ・タブレットの操作方法やアプリの活用方法を学習します。

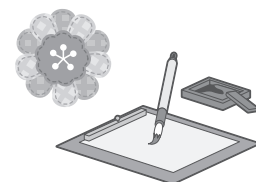
◎スマホまたはタブレットをお持ちの方はご用意ください。
 ※お持ちでない方は申込時にご相談ください。

お知らせ

◆教室生の作品展を開催します

期間 2月5日(水)～2月14日(金)

場所 大会議室



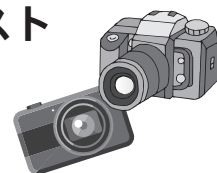
各教室の1年間の成果を展示します。
 力作ぞろいですので、是非ご覧ください。



◆2024 大分市人権フォトコンテスト 入選作品展を開催します

期間 1月14日(火)～1月24日(金)

場所 大会議室



最優秀作品「あ～ん！」



◆2025 年度 教室生を募集します

期間 (予定) 2025年 4月8日(火)～16日(水)

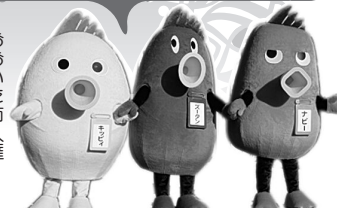
申込方法 当センターにご来館のうえ、直接お申し込みください。
 詳細は、2025 年 4 月に発行します「あさひ」をご覧ください。

お気軽に
ご応募くださ～い!



2024年度の「暮らしの中の人権講座」 「人権を考える講演会」 に参加した 受講者の感想・意見

おおいた市人権
イメージキャラクター
「キズナース」



— 今年度もご参加ありがとうございました —



7月11日(木)開催

落語家

つゆ しんじ
露の新治 師匠

演題 「新ちゃんのお笑い人権高座」

とても楽しい講演会でたくさん笑いました。その中でも
 しっかり人権のことが分かりやすく勉強できました。「加
 差別」「自分差別(コンプレックス)」「自恋」とも胸にひ
 びきました。



8月22日(木)開催

NPO 法人
「LGBT の家族と
友人をつなぐ会」

なかじま じゅん
中島 潤 さん

演題 「多様な性から人権を考える」

聞きやすい声、話し方で分かりやすかったです。普段の
 生活の中で自分が言った言葉で、性的マイノリティーの方
 を傷つけているかもしれないと感じました。知らない単語
 が結構あり、アップデートしようと思いました。



9月19日(木)開催

人権・同和教育課
参事補

たかはし じゅんこ
高橋 淳子 さん

演題 「誰もが自分らしくあるために」

男女の価値観を決めつけない。LGBT に関しても、偏見
 を持たず、普通に受け入れたい。その方達を受け入れる
 「パートナーシップ宣誓制度」のような法律がもっと進め
 ばいいと思いました。



10月10日(木)開催

元旭町児童館長

ただ ひろかず
多田 公一 さん

演題 「薫習(くんじゅう)を考える」

「薫習」という言葉を初めて聞き、親や地域の影響で、自
 分たちの中には自然と身に沁みこんだ考えや行いがある
 と思いました。人権は自分事として考え、一日一日を大事
 に生きていきたいと思いました。

● 2025年度行事予定表(4月～12月) ●

4月 各教室生募集

5月 各教室開始 / 健康相談

7月 【第1回】暮らしの中の人権講座

8月 【第1回】人権を考える講演会
 【第2回】暮らしの中の人権講座

9月 健康相談

【第3回】暮らしの中の人権講座

10月 【第4回】暮らしの中の人権講座

11月 旭ふれあい祭 ～アーチ～

12月 【第5回】暮らしの中の人権講座
 健康相談 / がん検診・市民健診
 健康づくり料理教室